

日本大学

大学の一押し事業

板橋区内の消防署員にワクチン接種

日本大学医学部附属板橋病院では、令和3年5月3日から3日間にわたり、板橋区内2か所の消防署に医師等16名を派遣し、国が示す医療従事者に含まれる救急隊員約400名に対して新型コロナウイルスワクチンの接種を行いました。

また、板橋区民のワクチン接種率向上のため、接種第1回目より高島平区民館へ医師等を派遣し、延べ7600名のワクチン接種を行いました。

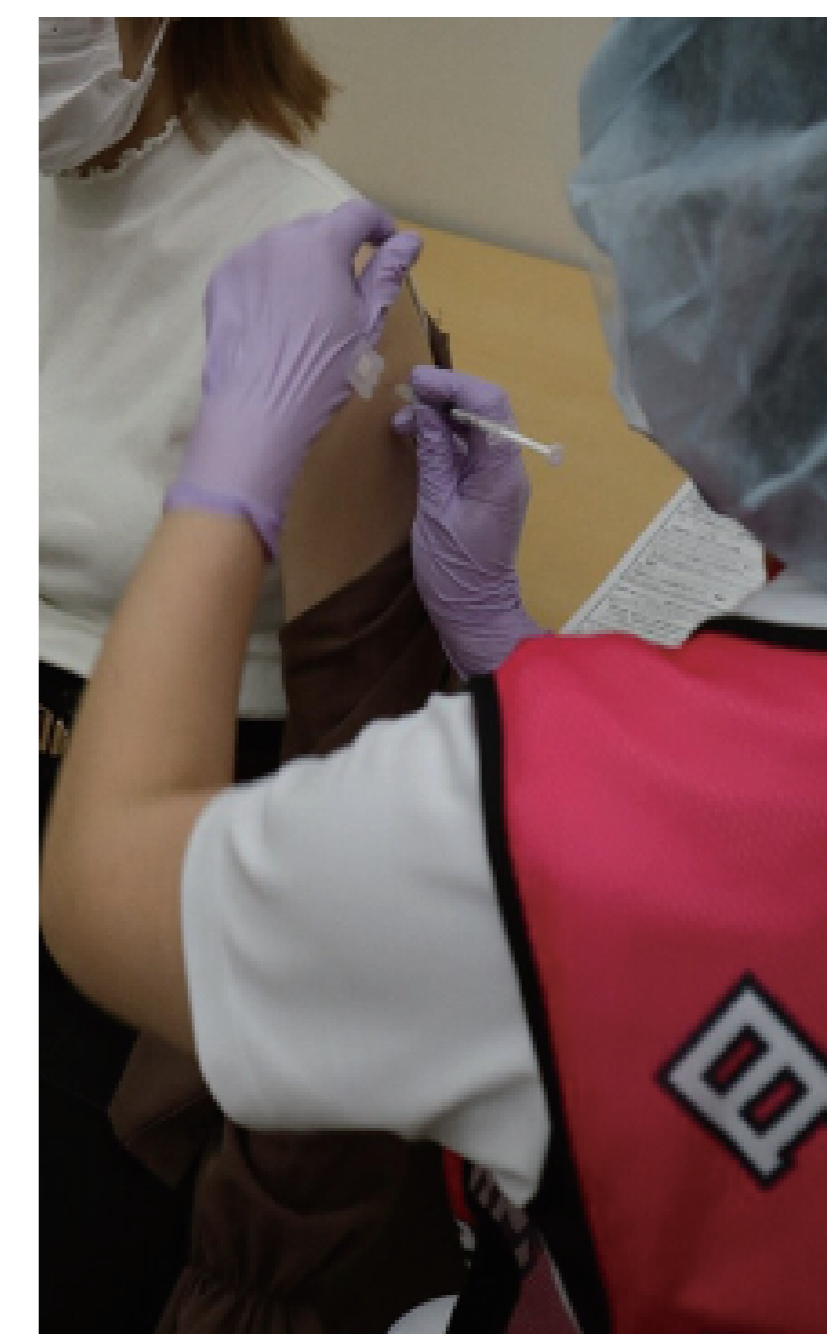


大学関係者3万人超にワクチン接種

全国の総合大学に先駆けて令和3年6月21日から約5か月間、大学拠点接種を行いました。本学学生、教職員らを対象に計6万7000回の接種を実施し、総接種者数は3万4000人を超えました。

(医学部キャンパス接種者を除く)

板橋病院はこれからも地域医療に積極的に貢献していきます。



初診のお問い合わせ先と受付時間
お電話でのご予約 03-3972-8111[代表]

予約受付時間
平日 午前8:30～午後7:00 土曜日 午前8:30～12:00

休診日
日曜日、祝日
年末年始(12月30日～1月4日)
日本大学創立記念日(10月4日)
総合防災訓練日(10月29日)



初診の方へのご案内は
こちらからご覧いただけます▶



日本大学

大学の一押し事業


子どもの内臓脂肪研究 ー患者負担の少ない内臓脂肪測定法の開発を目指すー

子どもの肥満・メタボリックシンドロームはさまざまなリスクを引き起こします

- ①身体的問題（高血圧、睡眠時無呼吸、糖尿病、脂肪肝など）
- ②その他の問題（運動器疾患、肥満関連がんの罹患率上昇など）

肥満・メタボリックシンドロームがさまざまな健康障害を引き起こす源流に内臓脂肪の増加があります。

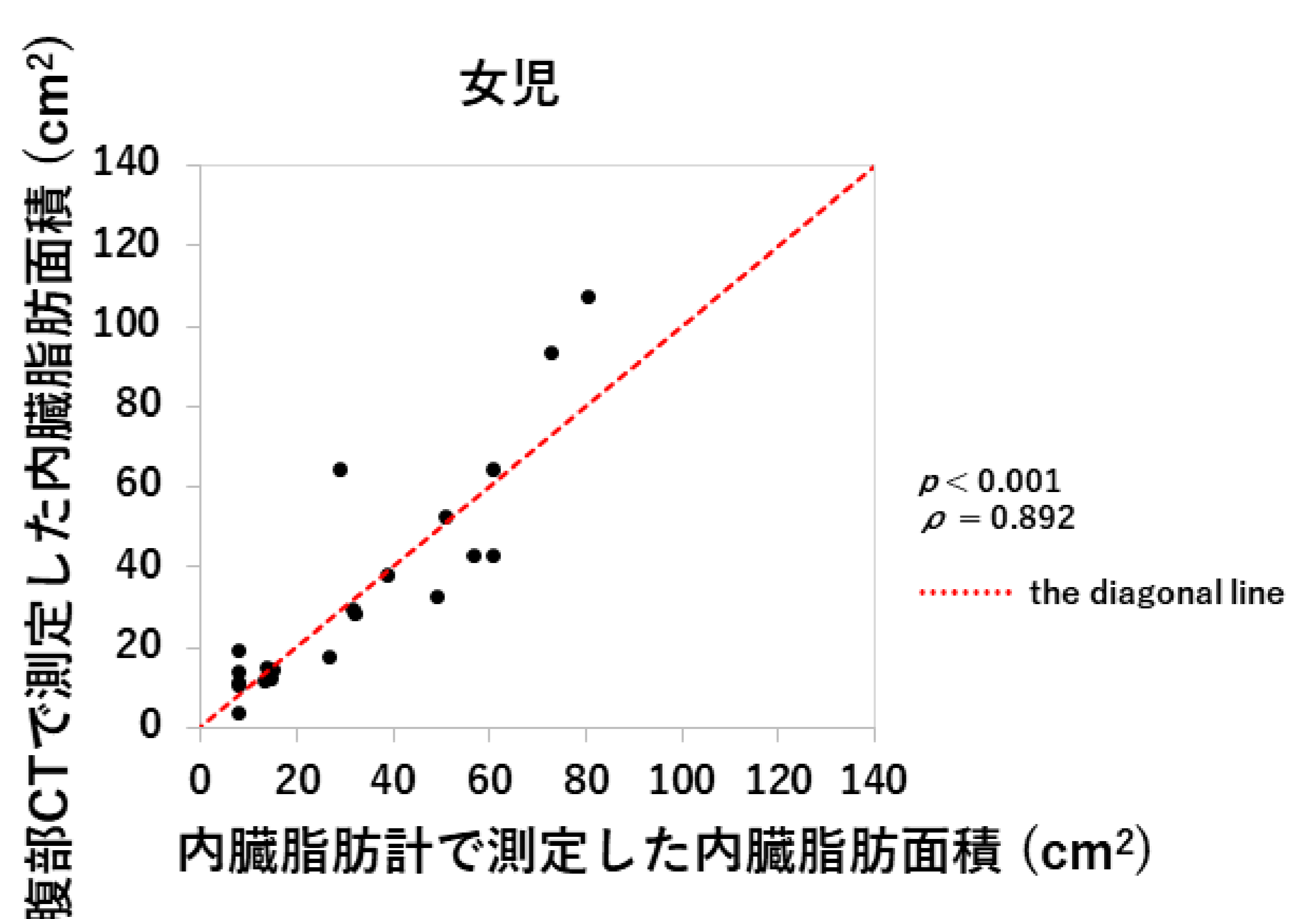
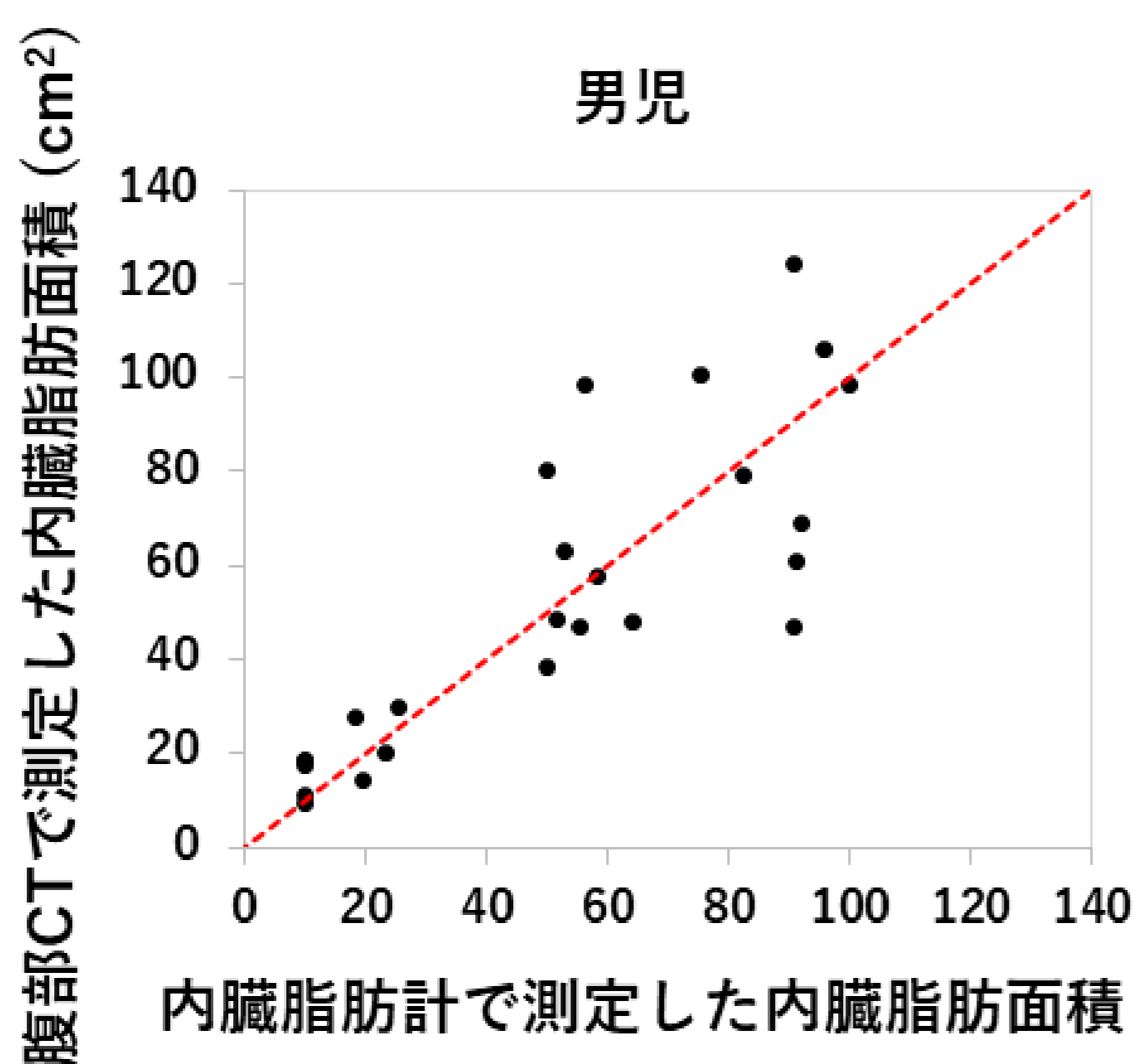
内臓脂肪の測定は、腹部のCT検査を行います。腹部CTは正確に内臓脂肪を測定できる利点があるものの、放射線被爆の問題がありました。

 日本大学医学部小児科 と 花王（株） **KAO** は共同研究を行い、放射線被爆がなく短時間で「子どもの内臓脂肪面積」を測定する方法を開発しました

内臓脂肪計（パナソニック社、EW-FA90）は、安全性が高い測定方法として成人に使用されていましたが、体内の水分量が成人と子どもでは異なるため子どもには使われていませんでした。

医学的に腹部CTが必要であった小児の患者さんご家族に研究の意義を説明し、腹部CTの結果と比較しました。その結果、子ども用に補正することにより、内臓脂肪計の測定結果は、腹部CTの結果と相関をすることが分かりました。

内臓脂肪計は非侵襲に子どもの内臓脂肪面積を測定する選択肢の一つになることが分かりました。



日本大学医学部附属板橋病院小児科の生活習慣病外来では、肥満・メタボリックシンドロームが心配なお子さんの内臓脂肪測定および健康障害の検査とフォロー等を行っています。

受診をご希望の際は、小児科医局（03-3972-8111（代表））までお電話でご相談ください。



日本大学医学部
NIHON UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

日本大学

地域とのつながり

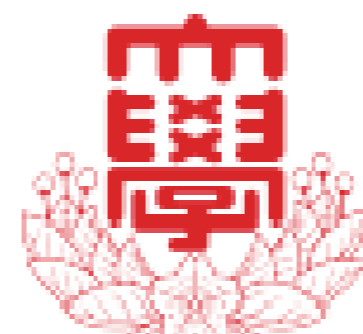
日本大学よりマレーシア首相に学位贈呈 イスマイル・サブリ首相に名誉医学博士号



日本大学は5月24日、岸田文雄首相との首脳会談のために来日したマレーシアのイスマイル・サブリ首相に日本大学の名誉医学博士の学位を贈呈した。

板橋区役所で行われた贈呈式で日本大学加藤学長（当時）は「国民の生命と健康を第一に考え、中心的な役割を担われるとともに国際医療連携の信頼構築ならびに遠隔による診断治療および機能回復訓練における技術の向上に多大なる貢献を果たされた」とサブリ首相の功績を讃えた。首相は「このすばらしい学位は私だけでなく、マレーシア国民のもの。お祝いもしてもらい、大変光栄だ」と謝辞を述べた。

日本大学医学部附属板橋病院は先進医療を提供する「特定機能病院」として地域連携に取り組んでおり、地域の人々の健康を増進、疾病の負担を軽減、健康水準の格差の是正を目指している。今後は更なる社会貢献のため、地域・国を超えた多岐にわたる領域においても、「医療」をキーワードとした日本大学、板橋区、マレーシア、三者間交流の深化が期待される。サブリ首相もまた日本との関係性をことさら重視していることから、日本大学としても、大学の教育理念である「自主創造」の実現に向けた、教育研究における国際的な展開を目指していきたいと考える。



日本大学医学部
NIHON UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE